

## 1. 共通テーマにおける取り組み

### ■子どもに関わる機関について知る

特に相談員からのニーズの高かった虐待や虐待疑い時に関かわる子ども関連の行政機関の役割と業務について学習する機会を作った。相談窓口や相談受付後の流れを、複合的な課題を持つ家庭へ関わる支援者の子どもへの視点を持ってもらえた。

子ども食堂に関して、堺市で一番西区に件数が多く、重層的な相談支援体制を地域に作る上でもその活動を知り、連携することが望まれることより来年度に深めたい。

### ■シームレスな支援に向けて

ライフステージを超える支援として、小学校の進路を決める支援について事例検討を行う。元要対協児童の見守りとしての放課後デイサービスの役割にも触れた。教育や福祉、行政が役割分担し家庭に関わり、情報共有する時期と内容を見極め見守る、相談員の視点を共有できた。

中学入学時、高校入学時、卒業時(児から者へ)の各ライフステージにおける事例を通して課題共有したいとの意見があった。

### ■医療的ケア児等の支援について

医療的ケア通学支援事業についての事例報告を行う。事業自体が知られていない、堺市立の学校は対象にならない以外にも、訪問看護事業所が同日に複数力所利用できないために、今まで受けてきた医療支援体制を変更せざるを得ないなどの利用してみえてくる課題が共有された。また、医療的ケアが必要な方の大学就学支援については、協議会で事例共有した後に、当事者の働きかけも大きく、予算案に組み込まれたことを報告している。さらに、身体が大きい医療的ケア児の入浴の問題、1歳児から保育所入園が出来るようになるので家族支援のあり方の変化など、今後増加する可能性のある課題が顕在化できた。

西区は医療的ケア児を受け入れる施設が複数あり、それに付随して医療的ケア児を担当する相談支援専門員もいるので来年度も医療的ケアに関する課題集約は継続したい。

## 2. 西区独自の取り組み

### ■高齢者関係者会議・障害者自立支援協議会交流会

防災をテーマに3ヵ年計画で取り組んでおり、知る→体験→啓発を目標とした今回は、「災害に備えて」西区自治推進課より西区の災害について学び、それを踏まえ「私のイチオシ持ち出しグッズ」をグループワーク内で話し合う。今後は、さらに個別避難計画の策定などにも触れ、どのように地域に啓発、還元していくかを検討する。

### ■ヘルパー交流会

今年度は昨年度延期した「若年性認知症の理解～よりよい支援のために～」の研修を開催。現場のヘルパーに聞いてもらえる研修として企画しているが、昨今のヘルパー事情より研修を受ける人的余裕がないとの課題もある。しかし研修ニーズは高いため、継続するにあたりコロナ禍であることも踏まえ、来年度は、世話人の増員も検討、開催時のアンケートで多かった「発達障害」についての研修をオンライン開催の予定。